

事務事業マネジメントシート(平成24年度実績と平成25年度計画)

平成26年 1月20日更新

事務事業名		須屋支所維持管理事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☒ 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	4 みんな元気で笑顔あふれるまちづくり				所属部	総務部
	施策	25 行政改革の推進				所属課	市民課
	基本事業	87 市民サービスの向上				所属班	須屋支所
予算科目		会計一般	款2	項1	目18	事業連番11102	法令根拠
終了、開始年度		☐ 24年度で終了 ☐ 24年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (年度)
						成果優先度評価結果 : ⑦ コスト削減優先度評価結果 : ⑥	

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	須屋支所の維持管理及び運営管理を行なう事業。当時の町長マニフェストにより、平成15年7月に人口密集地である須屋地区住民の利便性向上を図るために開設した。合併後も引き続き運営している。利用者の増加、業務の広範圏化による職員一人当たりの業務量の負担が増えてきている。 支所用地の借用期間が平成25年3月31日(10年契約)で終了するため、須屋支所移転事業により、須屋市民センターの増築工事を行い、平成25年2月12日に須屋支所を須屋市民センター内に移転させた。この事業により、支所機能と市民センター機能を統合した。
【業務の流れ】	①賃貸借契約等(コピー機、) ②修繕費、賃借料の支払い
【主な予算費目】	①需用費(消耗品費、修繕費) ②役務費 ④使用料及び借地料
【意見や要望】	平成24年度に須屋支所を須屋市民センター内へ移転したことにより、支所機能とセンター機能を一つにまとめることができた。近くに支所があり便利であり、この業務環境を維持してもらいたいとの意見が多い。・土、日の開所の要望(平成23年4月から合志庁舎での日曜窓口開庁が始まったので、便利になったとの意見もあるが、遠いので近くの支所でも開所してほしいとの根強い要望もある。)
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 24年度実績(24年度に行った主な活動)(DO)		25年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
須屋支所の維持管理及び運営管理を行った。		24年度に同じ
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ア:施設利用者数	人	土地借上料の減(須屋市民センター内へ須屋支所機能を移転させたため)
→イ:		
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標)(単位)
施設利用者		→ア:施設利用者数
		→イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標)(単位)
・施設を適切に維持管理を行う。		→ア:施設の瑕疵による事故件数
		→イ:
*③成果指標設定の理由と25年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
		0

(2)各指標・総事業費の推移											
		単位	22年度 実績(決算)	23年度 実績(決算)	24年度 目標(当初予算)	24年度 実績(決算)	25年度 目標(当初予算)	26年度 予定	27年度 見込	28年度 見込	
① 活動指標		人	39,955	38,648	31,000	38,663	31,000	31,000	31,000	31,000	
② 対象指標		人	30,358	0	31,000	0	0	0	0	0	
③ 成果指標		件数	0	0	0	0	0	0	0	0	
投資 入 費 量	事業 内 訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円			42	163	182	182	182	
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	3,281	3,310	3,802	3,488	157	326	326	326
	(A) 事業費計	(A) 事業費計	千円	3,281	3,310	3,844	3,651	339	508	508	508
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件 費	正規職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4	4	4
		延べ業務時間	時間	148	4,341	148	3,912	148	148	148	148
		(B)人件費計	千円	247	17,528	597	15,925	597	597	597	597
トータルコスト(A)+(B)		千円	3,528	20,838	4,441	19,576	936	1,105	1,105	1,105	

事務事業名	須屋支所維持管理事業	所属部	総務部	所属課	市民課
-------	------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部（SEE）

※原則は24年度の事後評価、ただし複数年度事業は24年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①24年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	②25年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 ・維持管理は必ず必要である。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☒ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 他に手段がない ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ・近隣に市民センターがあるため、その施設内に移転する手段は考えられる。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 ・現状でも職員で施設内外の清掃を行なうことにより、清掃費を減らす等努力を行なっている。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 ・施設管理は、職員以外が行なうことは不適であるとする。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 ・市の窓口サービスを提供する施設であり、公平性の評価には該当しない。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☐ 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括（SEE）

※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

--

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	(2) 改革・改善による期待成果（廃止・休止の場合は記入不要） <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																						